ブドウやリンゴの着色促進技術の開発

1　目　　的

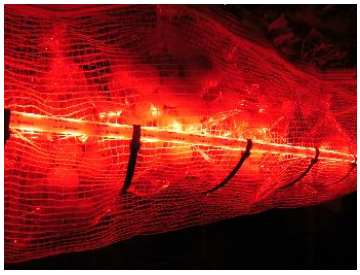
県内産ブドウやリンゴ等に発生している高温による着色不良を回避するため、LEDを用いた着色促進技術を開発する。

2　研究計画･試験方法等

1）ブドウ果房に対するLEDテープライトを用いた着色促進効果の検討
　LEDテープライトを用いて、樹上の赤色系ブドウの果房に対し、赤色光を照射し、着色促進効果を明らかにする。
2）リンゴ果実に対する据え置き型LEDライトを用いた着色促進効果の検討
　据え置き型LEDライトを用いて、樹上の赤色系リンゴの果実に対し、青色光を照射し、着色促進効果を明らかにする。

着色不良のブドウ果房

赤色系ブドウの収穫前に
果房へ赤色光を照射



LEDテープライトの近接照射

赤色系リンゴの収穫前に
果実へ青色光を照射

据え置き型LEDライト

着色不良果の減少により
商品化率向上

宮城県農業・園芸総合研究所　住所：宮城県名取市高舘川上字東金剛寺1番地
TEL：022-383-8118，FAX：022-383-9907
HP：https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/res_center/